

尊敬する日本のロータリーの指導者の皆さま

ヨーロッパからアジアへ向かう機上で、「ただ今、インド上空を飛行中です」との機長の案内放送を聞き、この手紙をしたためております。それというのも、数週間前、中国出張の際に、機内で事務総長が渡してくれた一枚の報告書を見たことを思い出したからです。そこには、会員数世界第2位を誇る日本のロータリーが、インドに追い越されたという内容が記されていました。

私は、衝撃的なその内容を信じるできませんでした。ちょうどその時、私の乗っていた飛行機は富士山の上空を飛んでいました。私は誰よりも、日本のロータリーに関心を抱いております。日本のロータリアンの中には、ロータリー発祥地のアメリカに勝るとも劣らぬロータリー運営をしているとおっしゃる会員もおられました。

数年前、宮崎で開催された RI 第 2730 地区大会に会長代理として出席したことがあります。第 2730 地区は、私の亡父が RI 第 3660 地区ガバナー(1985-86 年度)在任中、姉妹地区でありました。当時、亡父と同期のガバナーがまだご存命で、臥病中にもかかわらず、亡父に対する懐かしさから、私と会っていただきました。

テーブルを前にして対座した老紳士は、次のようにおっしゃいました。「貴殿のお父上は私よりも2歳年上でしたが、寡黙な人でありました。当時の日本のロータリーは韓国とともに旭日昇天の勢いで活動をしていましたが、今は一寸、気持ちが緩んでしまったような感じがします。しかし、日本人は団結力があるから、すぐ立ち直るでしょう。日本人が「よーし！」と気合を入れ、肝に銘じたら、会員増強も世界第一の実績を挙げるができると思いますよ」

その後、私は老紳士にお目にかかる機会がありませんでしたが、「よーし」と言った彼の言葉に共感し、一致団結して立ち上がる日本人に魅惑されております。私は当分の間、アメリカにおいて日本を凌駕するロータリー国はないと思っていますが、しかし、亡父が称賛していた日本のロータリーが衰退の影を見せているのではないかと、不安が押し寄せてきています。

日本のロータリーは、会員数減少とともに、3.5ゾーンから3ゾーンへと縮小されました。インドのロータリアン数が日本を追い越したことで、日本のロータリーが弱体化するとは、もちろん、思っておりません。しかし、世界のロータリーの羨望の的であった日本のロータリーが、後退してはなりません。世界の模範となるロータリー国である日本が弱体を見せると、世界のロータリーが後退する結果をもたらすからであります。

日本は2人のRI会長を輩出したロータリー指導国であり、日本のロータリアンは世界社会奉仕面でも先頭走者として活躍しておられます。日本ロータリーの会員増強においても、いろいろな方法がありますが、女性会員を積極的に迎え入れるのも一案であると思われます。韓国では、日本の数を超す女性会員が活動しており、女性ガバナーも3名輩出しております。

敬愛する日本のロータリー指導者の皆さま、いかに経済が難しく、民心が変わるとしても、日本人には「よーし」という精神力があります。皆とともに手に手をつないで前進してまいりましょう。2008-09年度に、会員増強の新しい金字塔を立ててゆこうではありませんか。

未筆ながら、皆さまの新鮮かつ格調高い対応策を期待いたしております。

RI 会長  
李 東建